

美術博物館の催し

「具体美術協会と芦屋、その後」

1954年に芦屋で結成された「具体美術協会」(具体)の18年間の活動の中から、1970年の万博に向けて準備を進めていた60年代後半からの動向を紹介します。また、1970年代に開催された「芦屋川国際ビエンナーレ」と「ルナ・フェスティバル」の資料を紹介し、芦屋の美術の時間を振り返ります。

■期間 7月5日～8月31日



展覧会ポスター

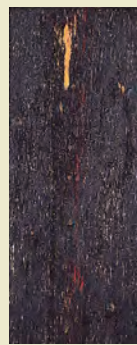


ホームページ

関連イベント

学芸員によるギャラリートーク

■日時 7月12日(土)午後2時～3時 ■会場 ホール・展示室 ■講師 当館学芸員 ■料金 要観覧料 ■申し込み 直接会場へ



上前智祐《作品》1958年 油彩、紙、コラージュ 当館蔵

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432 / FAX 38-5434 / ✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般900(720)円、大高生500(400)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

谷崎潤一郎記念館の催し

夏の特設展 関連講座 学芸員が語る「舞台の上の谷崎作品」



舞台「台所太平記」プロ
グラム(2015年明治座)

様々に脚色される文学作品ですが、ナマの舞台の迫力は格別です。ステージの上で多様に開示された、谷崎文学の世界をご紹介します夏の特設展。当館学芸員が解説します。

■日時 8月3日(日)午後2時～3時 ■会場 講義室 ■定員 20人(要予約) ■講師 井上勝博(当館学芸員) ■料金 要観覧料 ■持ち物 筆記用具 ■申し込み 谷崎潤一郎記念館へ



ホームページ

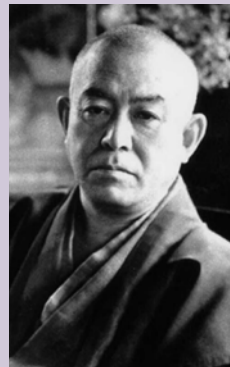
夏休み企画 文学館を楽しむ講座 初めての文豪入門 【中高生向け】 ～漱石・谷崎・芥川など～

漫画やゲームでも人気の文豪たちについて、楽しく学びませんか？作家たちの意外なエピソードや交流、作品について紹介します。参加された人には当館オリジナル缶バッジをプレゼント。

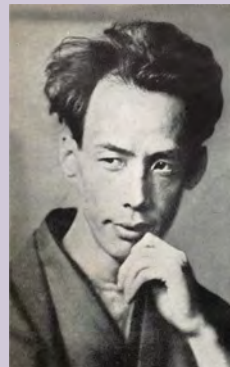
■日時 8月17日(日)午後2時～3時 ■会場 講義室他 ■対象 中学生・高校生10人(要予約) ■講師 永井敦子(当館学芸員) ■料金 500円(観覧料込み) ■持ち物 筆記用具・ノート ■申し込み 谷崎潤一郎記念館へ



夏目漱石



谷崎潤一郎



芥川龍之介

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852 / FAX 38-3244 / ✉ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp(〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

夏休み企画 文学館で自由研究 本でつながる広がる 親子でPOP作り

お気に入りの本を紹介する「POP(ポップ)」作りに親子で挑戦してみよう。

■日時 8月16日(土)午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■対象 小学生親子・10組20人(要予約) ■講師 田代弘子氏(甲南小学校School Librarian) ■料金 500円(保護者1人観覧無料) ■持ち物 おすすめしたい本・のり・はさみ・筆記用具(色ペン・色鉛筆など) ■申し込み 谷崎潤一郎記念館へ



作品例

市内の文化財案内 Vol.4

寺田遺跡(三条南町)で出土した奈良時代(8世紀)の須恵器5点で、墨で文字が書かれた「墨書土器」です。5点のうち、3点は判読不明ですが、残り2点にはそれぞれ「大領」「少領」の文字が書かれています。ところで、奈良時代の夙川付近から旧生田川(うばらぐん)または湊川付近までの範囲は摂津国菟原郡とし

芦屋市指定文化財 寺田遺跡出土「大領」「少領」等墨書土器

て区分されていました。「大領」「少領」は郡の政治を司る長官と次官を示していることから、当時、三条南町付近に菟原郡の政治の中心地があったと推定することができます。これらの資料は、芦屋市立美術博物館の歴史資料常設展示室に展示しています。

問い合わせ 国際文化推進課 ☎ 38-2115



ホームページ